

## 4. ごみ減量化・リサイクル、適正排出について

### 調査結果の概要

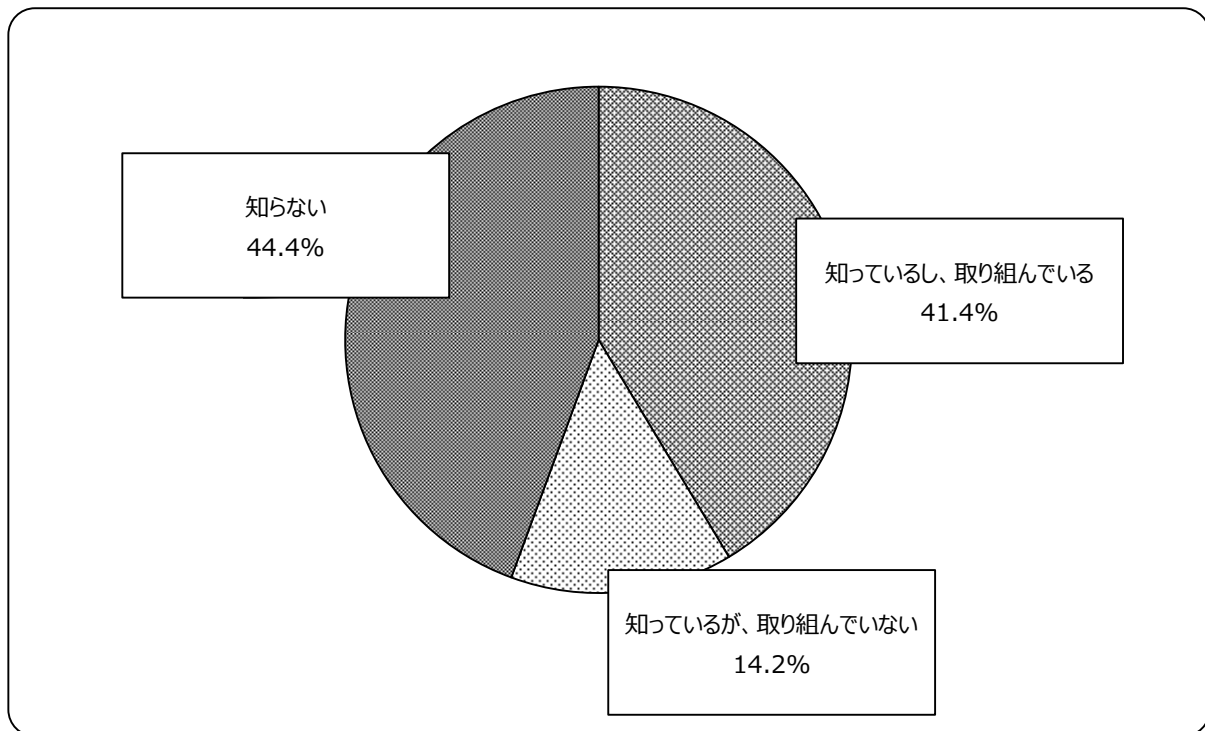
<b>テーマ</b>	ごみの減量化・リサイクル、適正排出について
<b>担当課</b>	環境局 環境事業部 環境事業管理課
<b>設問数</b>	15 問
<b>趣旨・目的</b>	<p>本市では、ごみに関わる環境問題の解決及び安定的なごみ処理体制の構築を目的として、令和 4 年 7 月から「堺・ごみ減量 4R 大作戦」を実施しています。</p> <p>今回のアンケートは、市民の皆様の当該事業の認知度やごみ減量・リサイクルに対する取組状況を把握するため、実施するものです。調査結果は今後の事業運営に活用したいと考えています。</p>
<b>調査結果</b>	各設問のページをご覧ください。
<b>調査結果に係る 担当課の所見</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・問 38 では、「堺・ごみ減量 4R 大作戦」の認知度が令和 4 年度と比較し 13.1 ポイント増加し半数を超えたことから、様々な媒体を活用した周知の効果があったと考えています。</li><li>・問 39、問 41 では、広報さかいやごみ収集車のアナウンス、市ホームページでごみ減量に関する情報を得ている市民が多いため、これらの媒体を活用した情報発信を継続実施します。</li><li>・問 45 では、ごみの 4R 運動のうちリフューズを知っている人、取り組んでいる人の割合が最も低いため、ごみの原因となるものを家庭に持ち込まないようマイバッグ、マイボトル、マイカトラリー（はし、フォーク、スプーン）を使い、使い捨て用品をもらわない、また過剰包装は断るなどのリフューズの行動を促す取組を実施します。</li></ul>

(1) 堺・ごみ減量 4R 大作戦について

問 38. 本市では、ごみに関わる環境問題の解決と安定的なごみ処理体制の構築のため、令和 4 年 7 月から令和 6 年 3 月までをごみ減量に集中的に取り組む期間と位置づけ、堺・ごみ減量 4R 大作戦を実施しています。この取組を知っていますか。 【1つ選択】

「知っているし、取り組んでいる」及び「知っているが、取り組んでいない」の合計は 55.6%であり、令和 4 年度の 42.5%から 10 ポイント以上増加した。

	選択項目 (N=471)	回答数	構成比
1	知っているし、取り組んでいる	195	41.4%
2	知っているが、取り組んでいない	67	14.2%
3	知らない	209	44.4%
	計 (回答総数)	471	100.0%



問 39. 問 38 で「1 知っているし、取り組んでいる」「2 知っているが、取り組んでいない」と回答された方に伺います。

堺・ごみ減量 4R 大作戦についてどこで知りましたか。

【複数選択可：いくつでも】

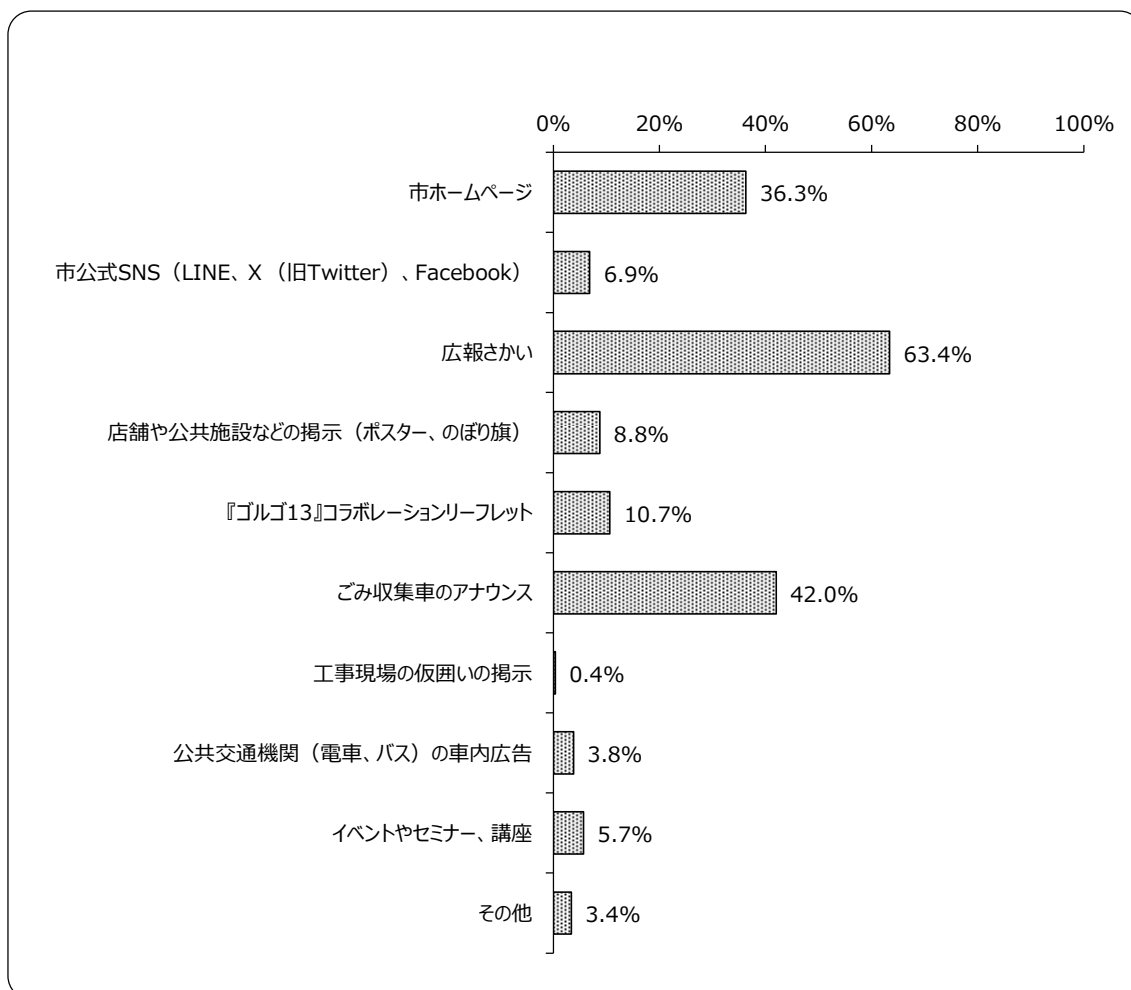
「広報さかい」が 63.4%（令和 4 年度は 62.6%）と最も多く、次いで「ごみ収集車のアナウンス」が 42.0%（令和 4 年度は 32.8%）、「市ホームページ」が 36.3%（令和 4 年度は 36.4%）であった。

	選択項目 (N=262)	回答数	回答数/N
1	市ホームページ	95	36.3%
2	市公式SNS (LINE、X (旧Twitter)、Facebook)	18	6.9%
3	広報さかい	166	63.4%
4	店舗や公共施設などの掲示 (ポスター、のぼり旗)	23	8.8%
5	『ゴルゴ13』コラボレーションリーフレット	28	10.7%
6	ごみ収集車のアナウンス	110	42.0%
7	工事現場の仮囲いの掲示	1	0.4%
8	公共交通機関 (電車、バス) の車内広告	10	3.8%
9	イベントやセミナー、講座	15	5.7%
10	その他	9	3.4%

[10 その他]

【主な回答】

- 学校
- 家族
- ジモティー 堺市クリーンセンターのアカウント
- 自治会の会議



**問 40. 問 38 で「2 知っているが、取り組んでいない」と回答された方に伺います。  
取り組んでいない理由は何ですか。**

**【複数選択可：いくつでも】**

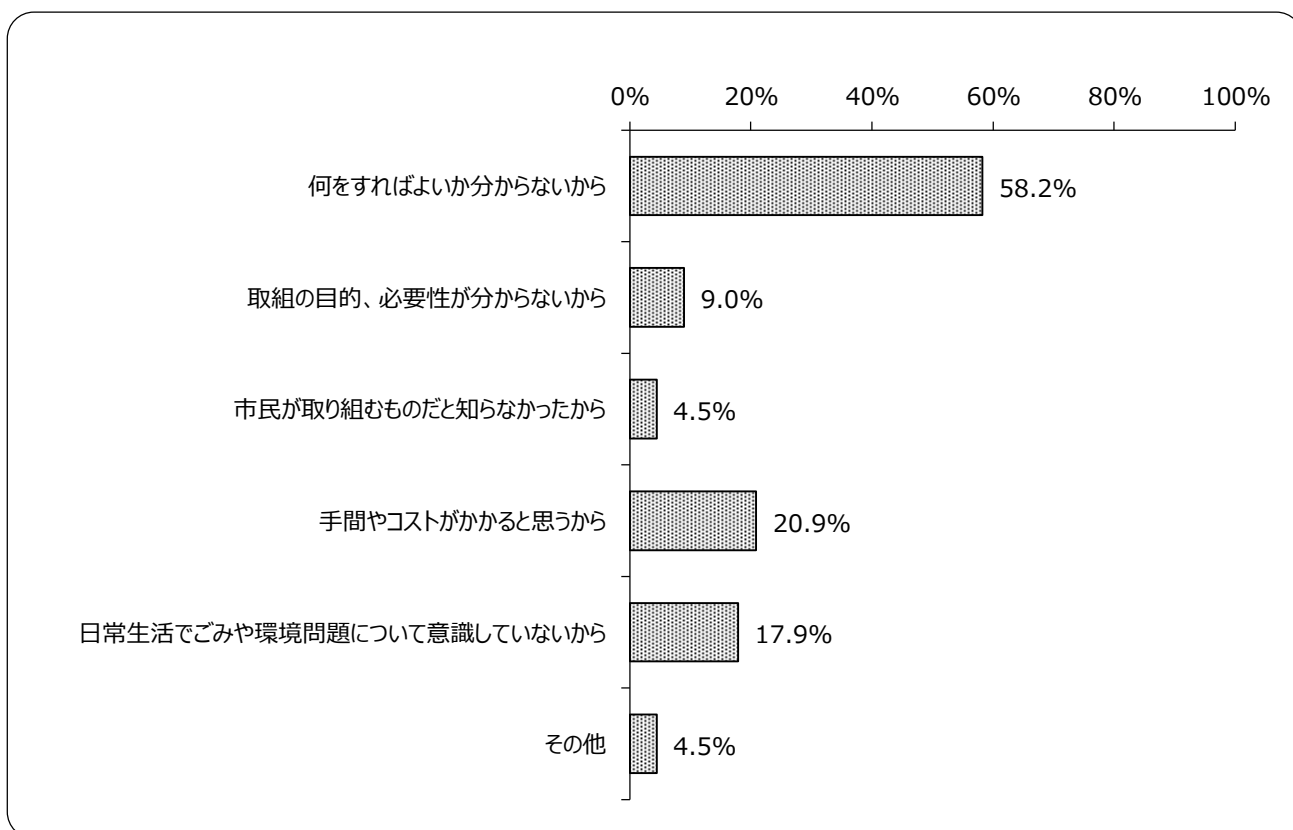
「何をすればよいか分からないから」と回答した方が 58.2%と最も多く、令和 4 年度の 67.9%から 9.7 ポイント減少した。「手間やコストがかかると思うから」が 20.9%（令和 4 年度は 11.3%）であった。

	選択項目 (N=67)	回答数	回答数/N
1	何をすればよいか分からないから	39	58.2%
2	取組の目的、必要性が分からないから	6	9.0%
3	市民が取り組むものだと知らなかったから	3	4.5%
4	手間やコストがかかると思うから	14	20.9%
5	日常生活でごみや環境問題について意識していないから	12	17.9%
6	その他	3	4.5%

[6 その他]

**【全回答】**

- ゴミは常に最小限しか出していない。
- 分別でいっぱい
- そのものの包装が過剰



(2) ごみ減量化・リサイクル、適正排出の情報発信媒体について

問 41. 本市のごみ減量化・リサイクルに関する情報発信媒体のうち、よく利用するものはどれですか。

【複数選択可：いくつでも】

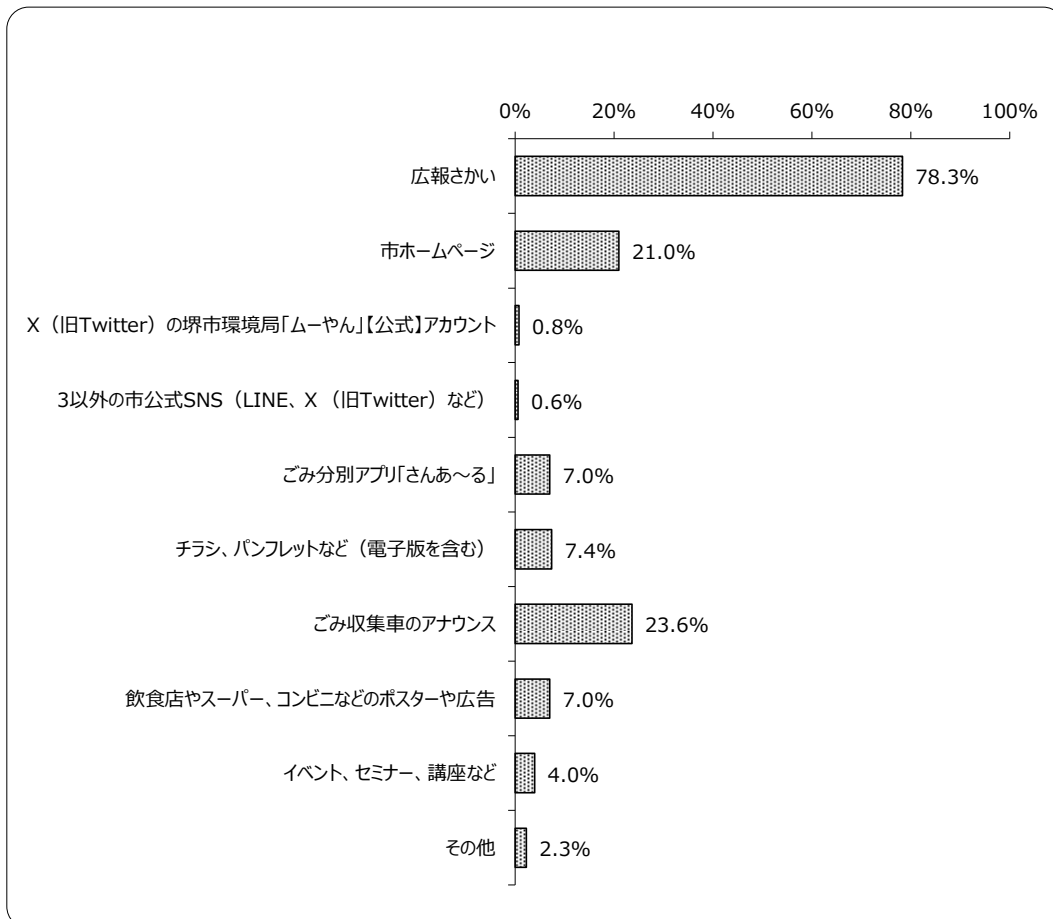
「広報さかい」と回答した方が 78.3%と最も多く、次いで「ごみ収集車のアナウンス」が 23.6%、「市ホームページ」が 21.0%であった。

	選択項目 (N=471)	回答数	回答数/N
1	広報さかい	369	78.3%
2	市ホームページ	99	21.0%
3	X (旧Twitter) の堺市環境局「ムーヤん」【公式】アカウント	4	0.8%
4	3以外の市公式SNS (LINE、X (旧Twitter) など)	3	0.6%
5	ごみ分別アプリ「さんあ〜る」	33	7.0%
6	チラシ、パンフレットなど (電子版を含む)	35	7.4%
7	ごみ収集車のアナウンス	111	23.6%
8	飲食店やスーパー、コンビニなどのポスターや広告	33	7.0%
9	イベント、セミナー、講座など	19	4.0%
10	その他	11	2.3%

[10 その他]

【主な回答】

- 利用していない。
- 自治会の会議
- 家族
- 学校
- 意識したことがない。



**問 42. ごみの排出方法が分からないとき、主にどのような方法で調べていますか。 【複数選択可：いくつでも】**

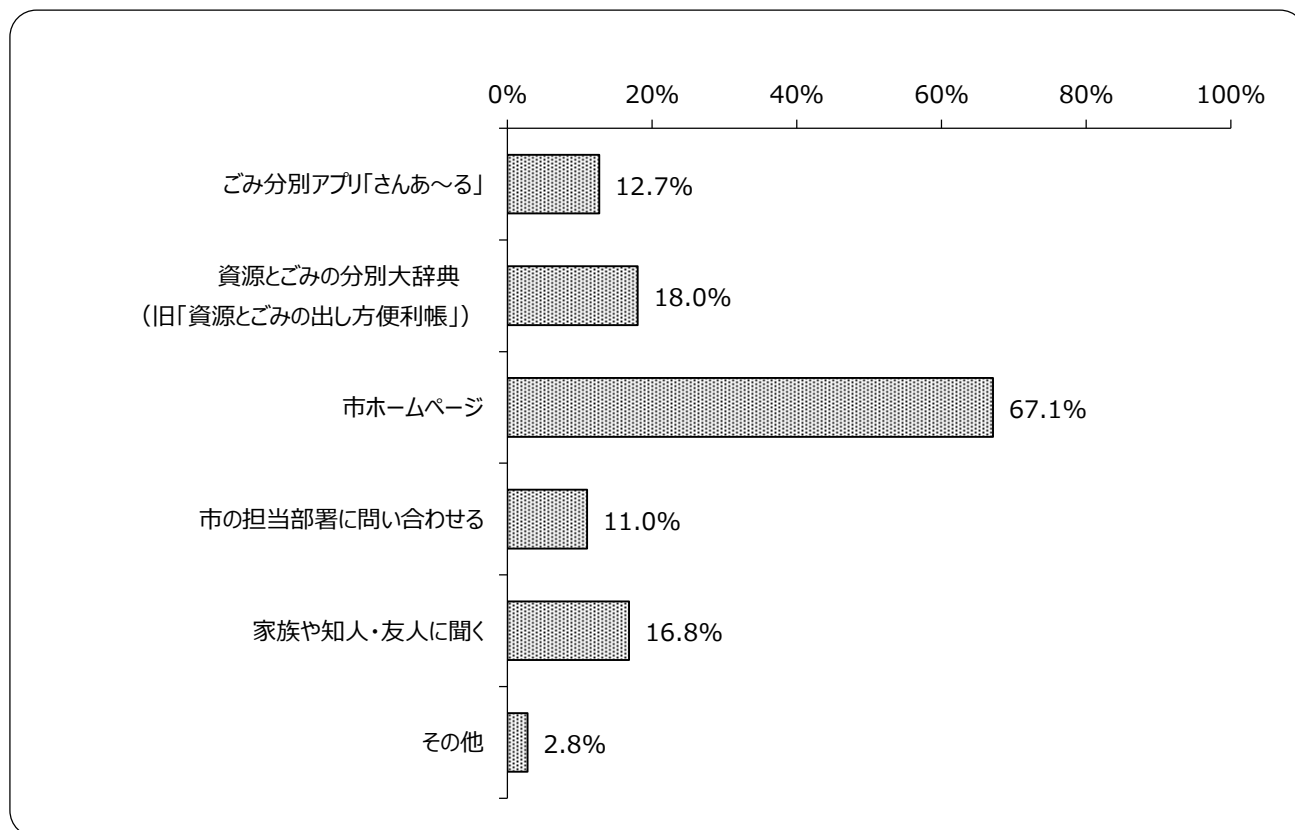
「市ホームページ」と回答した方は 67.1%と最も多く、電子媒体を活用したツールである「市ホームページ」と「ごみ分別アプリ「さんあ〜る」」の合計は 79.8%であった。

	選択項目 (N=471)	回答数	回答数/N
1	ごみ分別アプリ「さんあ〜る」	60	12.7%
2	資源とごみの分別大辞典 (旧「資源とごみの出し方便利帳」)	85	18.0%
3	市ホームページ	316	67.1%
4	市の担当部署に問い合わせる	52	11.0%
5	家族や知人・友人に聞く	79	16.8%
6	その他	13	2.8%

[6 その他]

**【主な回答】**

- インターネット
- 粗大ごみ受付センターに確認

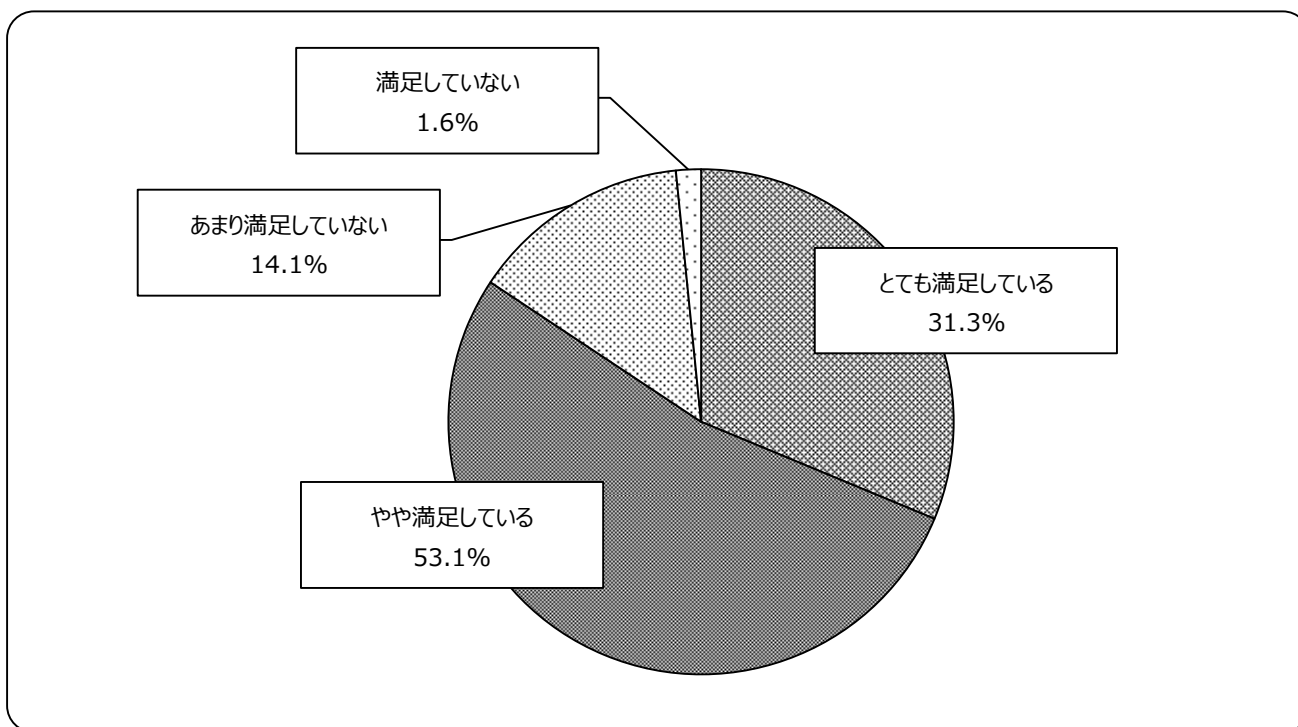


問 43. 問 41 または問 42 で「ごみ分別アプリ「さんあ〜る」」と回答した方に伺います。  
 アプリの内容に満足していますか。

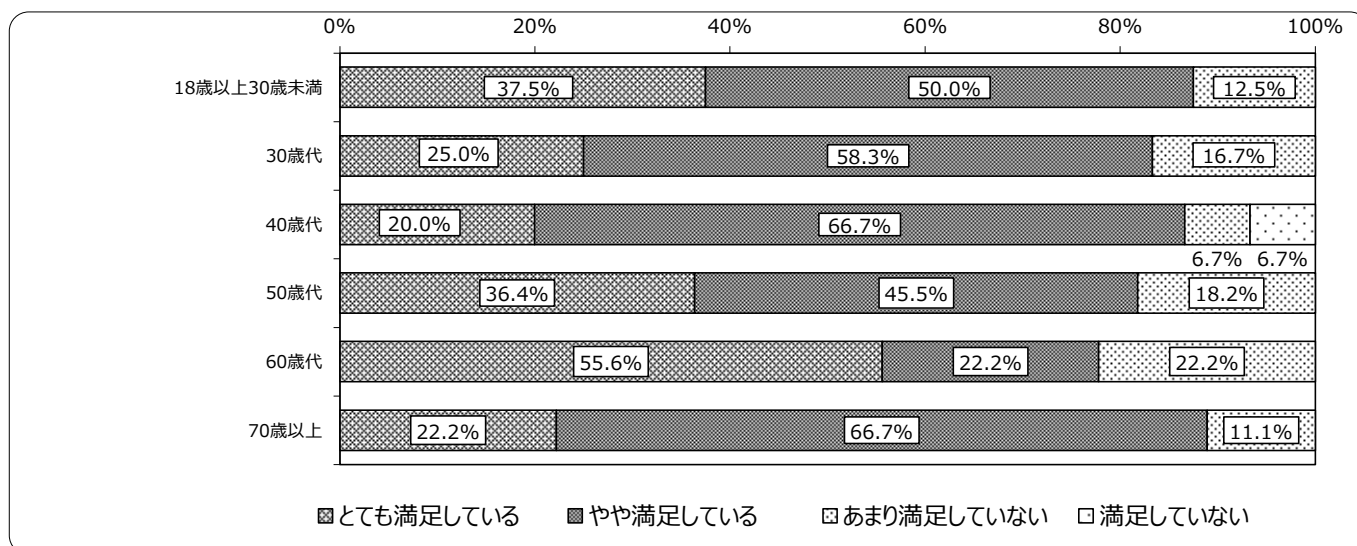
【1 つ選択】

「とても満足している」、「やや満足している」の合計は 84.4%であり、60 歳代を除くすべての年代で 80%を上回った。

	選択項目 (N=64)	回答数	構成比
1	とても満足している	20	31.3%
2	やや満足している	34	53.1%
3	あまり満足していない	9	14.1%
4	満足していない	1	1.6%
	計 (回答総数)	64	100.0%



《年齢別》



問 44. 問 43 で「3 あまり満足していない」「4 満足していない」と回答した方に伺います。

満足していない理由は何ですか。

【複数選択可：いくつでも】

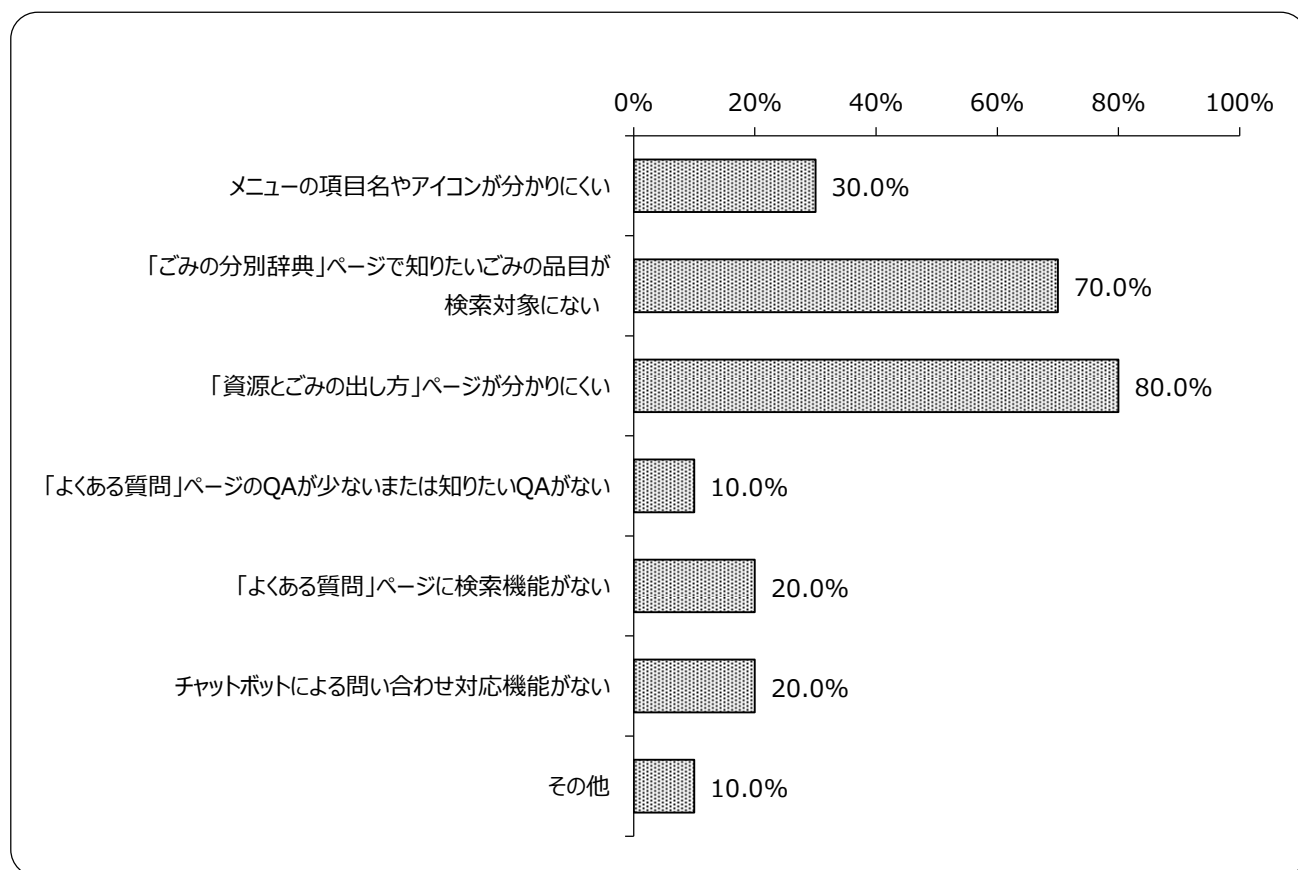
「資源とごみの出し方」ページが分かりにくい」と回答した方が 80.0%と最も多く、次いで「ごみの分別辞典」ページで知りたいごみの品目が検索対象にない」と回答した方が 70.0%であった。

	選択項目 (N=10)	回答数	回答数/N
1	メニューの項目名やアイコンが分かりにくい	3	30.0%
2	「ごみの分別辞典」ページで知りたいごみの品目が検索対象にない	7	70.0%
3	「資源とごみの出し方」ページが分かりにくい	8	80.0%
4	「よくある質問」ページのQAが少ないまたは知りたいQAがない	1	10.0%
5	「よくある質問」ページに検索機能がない	2	20.0%
6	チャットボットによる問い合わせ対応機能がない	2	20.0%
7	その他	1	10.0%

[7 その他]

【全回答】

- 品目の検索がしにくい。





### (3) ごみの 4R 運動について

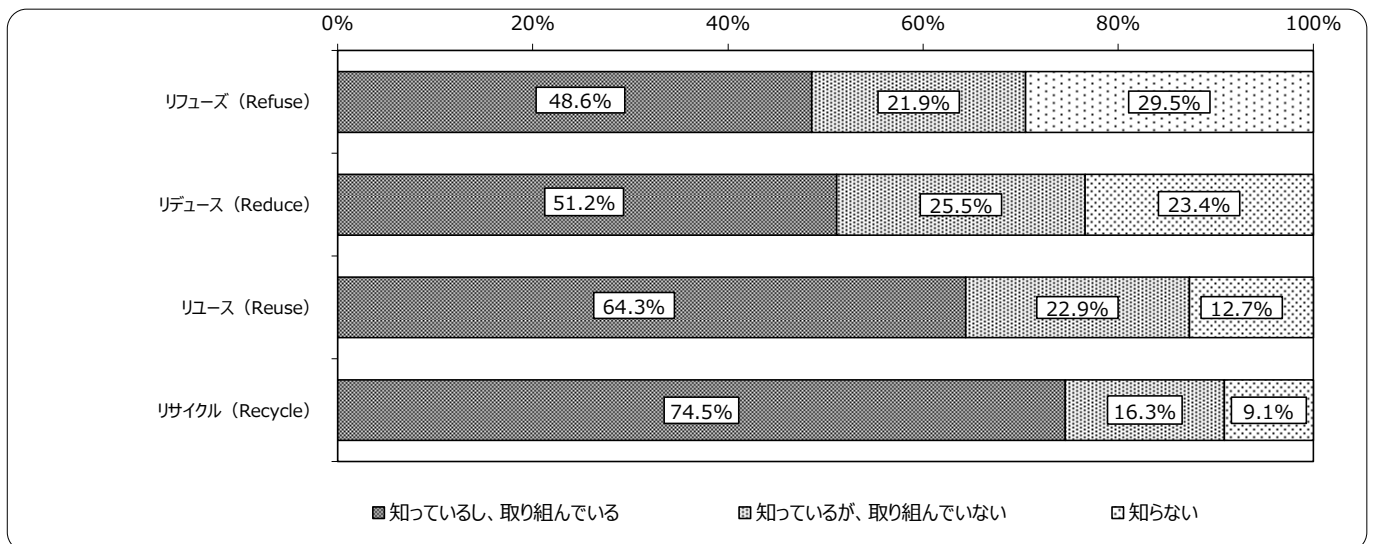
問 45. ごみの 4R 運動を知っていますか。

ごみの 4R 運動とは、ごみの減量につながる行動を示すリフューズ（Refuse：不要なものを断る）、リデュース（Reduce：ごみを減量する）、リユース（Reuse：繰り返し使う）、リサイクル（Recycle：再資源化する）の総称です。堺・ごみ減量 4R 大作戦では市民の皆様実践してもらいたい取組として推進しています。

【各項目：1 つ選択】

ごみの 4R 運動について「知っているし、取り組んでいる」と回答した方は、「リフューズ」が 48.6%（令和 4 年度 49.4%）と最も少なく、次いで「リデュース」が 51.2%（令和 4 年度 52.1%）であり、それぞれほぼ半数にとどまった。

選択項目(N=471)	知っているし、取り組んでいる	知っているが、取り組んでいない	知らない	計 (回答総数)
リフューズ (Refuse)	229 48.6%	103 21.9%	139 29.5%	471 100.0%
リデュース (Reduce)	241 51.2%	120 25.5%	110 23.4%	471 100.0%
リユース (Reuse)	303 64.3%	108 22.9%	60 12.7%	471 100.0%
リサイクル (Recycle)	351 74.5%	77 16.3%	43 9.1%	471 100.0%



**問 46. 問 45 でいずれかの項目について「2 知っているが、取り組んでいない」と回答された方に伺います。  
取り組んでいない理由は何ですか。 【複数選択可：いくつでも】**

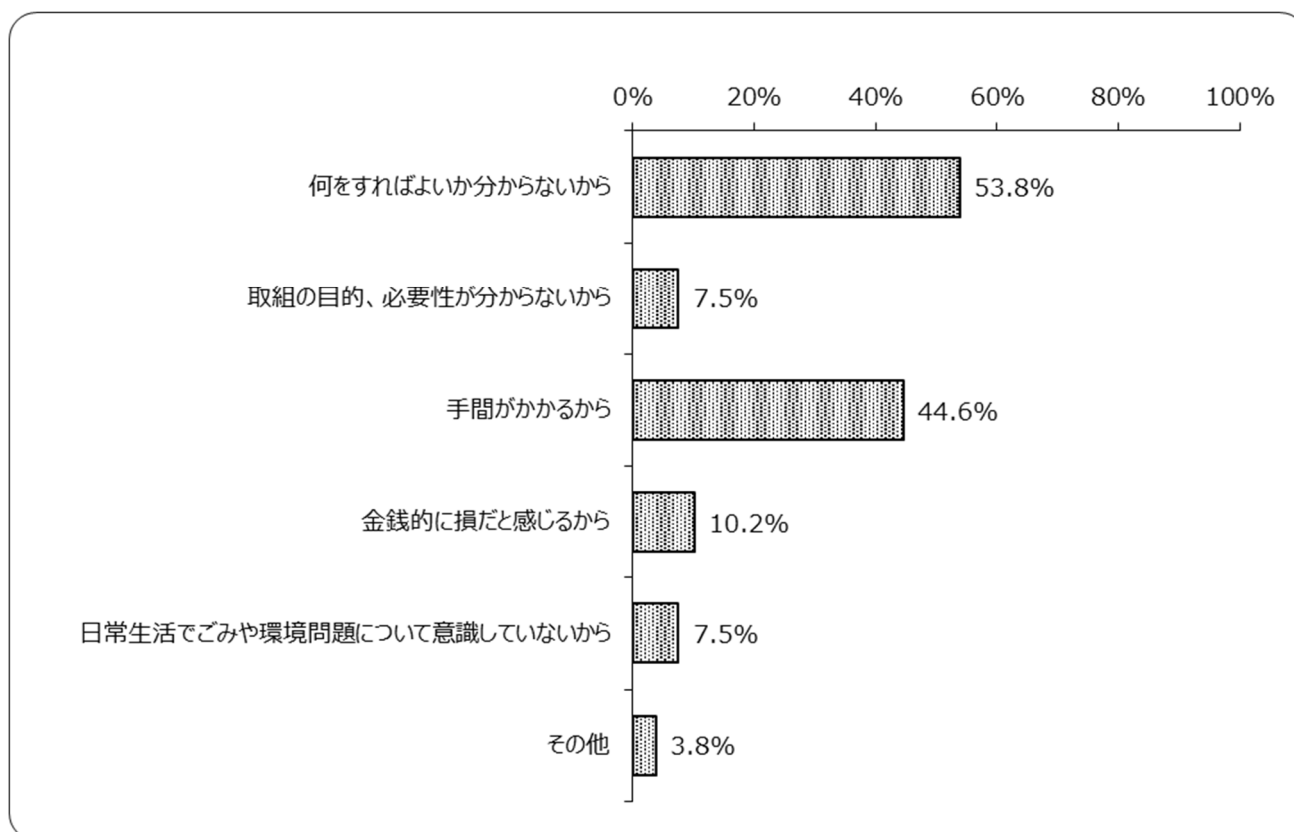
「何をすればよいか分からない」と回答した方は 53.8%であり、令和 4 年度の 47.7%から 6.1 ポイント増加した。  
「手間がかかるから」と回答した方は 44.6%（令和 4 年度は 43.7%）であった。

	選択項目 (N=186)	回答数	回答数/N
1	何をすればよいか分からないから	100	53.8%
2	取組の目的、必要性が分からないから	14	7.5%
3	手間がかかるから	83	44.6%
4	金銭的に損だと感じるから	19	10.2%
5	日常生活でごみや環境問題について意識していないから	14	7.5%
6	その他	7	3.8%

[6 その他]

**【主な回答】**

- 新品にこだわりたい気持ちがあるため
- ついついもらえるものをもらってしまう。
- 捨てる量を減らす事は困難に感じる。家に溜め込むわけにもいかないから



(4) ごみ減量の具体的取組について

問 47. リユース（Reuse：繰り返し使う）に関して、現在どのような行動に取り組んでいますか。

【複数選択可：いくつでも】

「壊れたものは修理して使う」と回答した方は 51.4%で、令和 4 年度の 54.9%から 3.5 ポイント減少した。

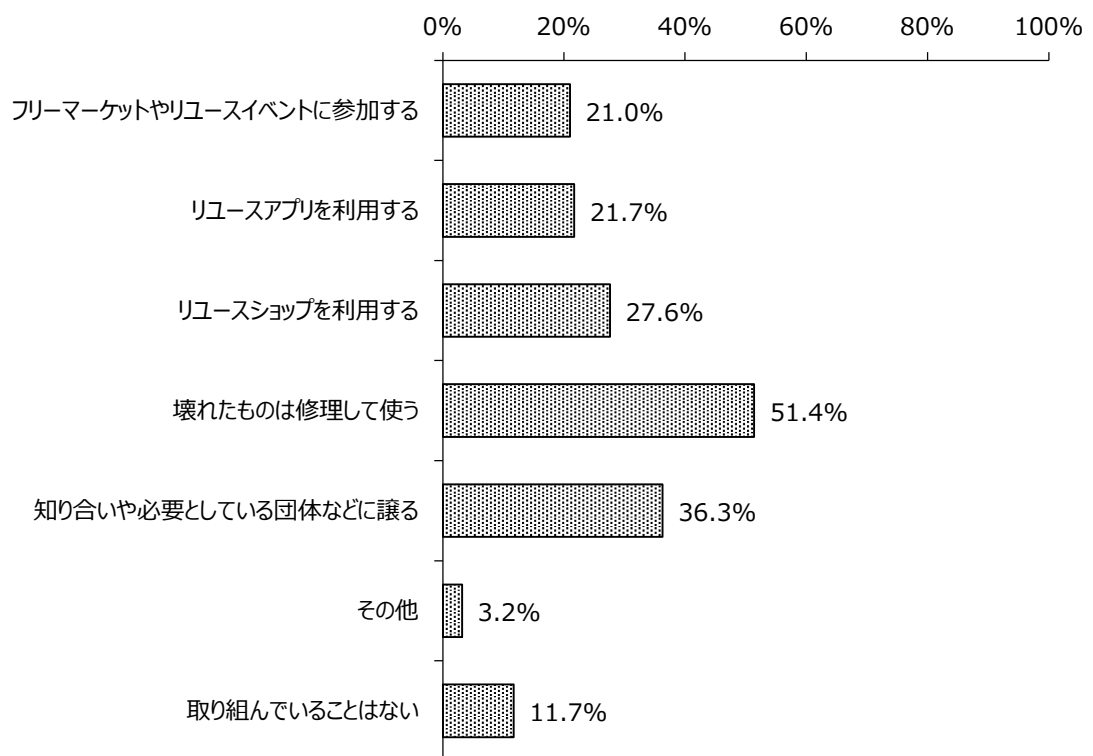
「知り合いや必要としている団体などに譲る」と回答した方は 36.3%（令和 4 年度は 34.8%）であった。

	選択項目 (N=471)	回答数	回答数/N
1	フリーマーケットやリユースイベントに参加する	99	21.0%
2	リユースアプリを利用する	102	21.7%
3	リユースショップを利用する	130	27.6%
4	壊れたものは修理して使う	242	51.4%
5	知り合いや必要としている団体などに譲る	171	36.3%
6	その他	15	3.2%
7	取り組んでいることはない	55	11.7%

[6 その他]

【主な回答】

- ビニール袋を捨てずに再利用
- PTA 活動の 1 つに学用品のリユースがあるので参加している。



問 48. 使い捨てプラスチック削減に向けて、現在どのような行動に取り組んでいますか。

【複数選択可：いくつでも】

「マイバッグを持ち歩く」と回答した方は 84.3%で、令和 4 年度の 83.3%から 1.0 ポイント増加した。

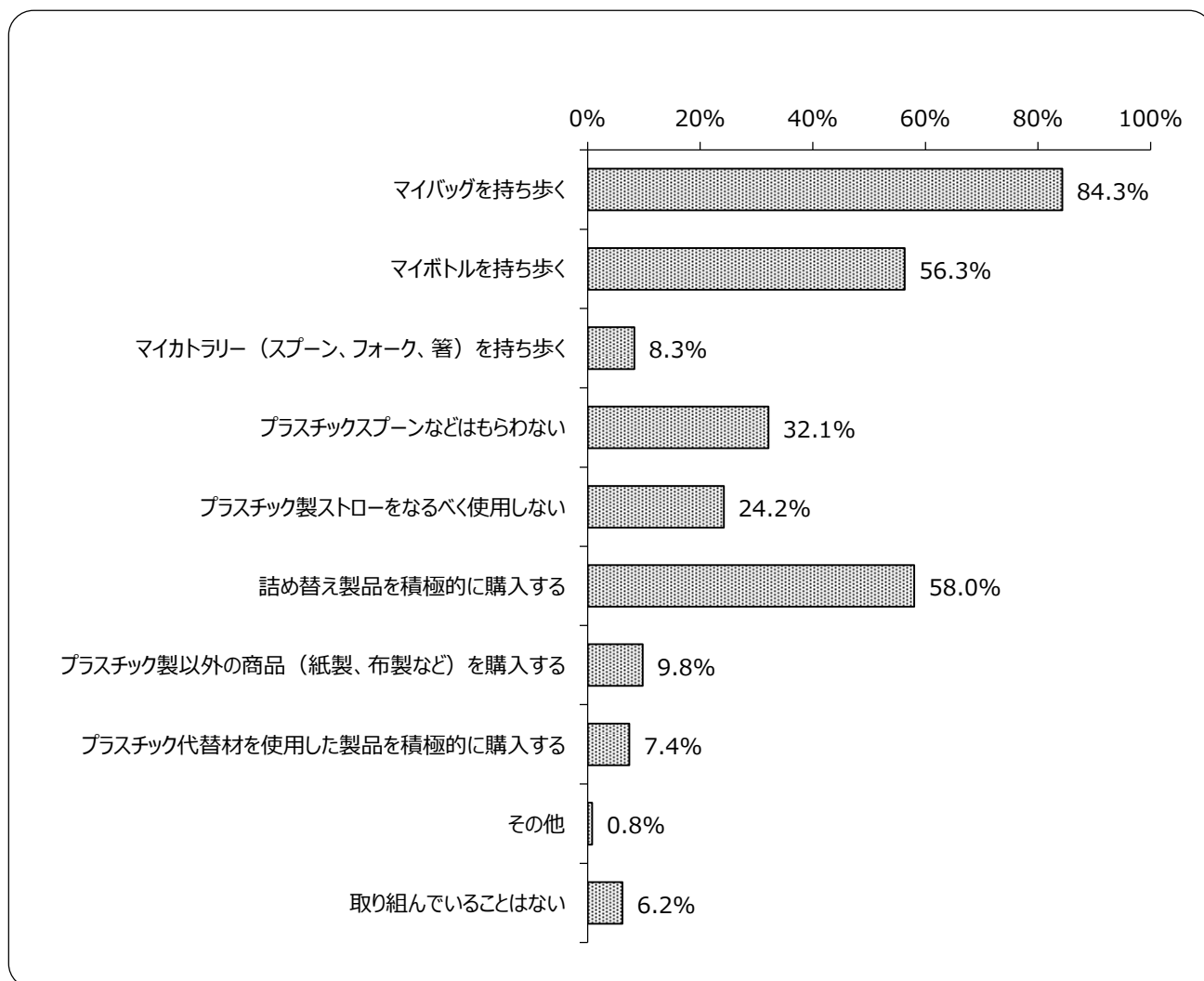
「マイボトルを持ち歩く」と回答した方は 56.3%で、令和 4 年度の 53.4%から 2.9 ポイント増加した。

	選択項目 (N=471)	回答数	回答数/N
1	マイバッグを持ち歩く	397	84.3%
2	マイボトルを持ち歩く	265	56.3%
3	マイカトラリー（スプーン、フォーク、箸）を持ち歩く	39	8.3%
4	プラスチックスプーンなどはもらわない	151	32.1%
5	プラスチック製ストローをなるべく使用しない	114	24.2%
6	詰め替え製品を積極的に購入する	273	58.0%
7	プラスチック製以外の商品（紙製、布製など）を購入する	46	9.8%
8	プラスチック代替材を使用した製品を積極的に購入する	35	7.4%
9	その他	4	0.8%
10	取り組んでいることはない	29	6.2%

[9 その他]

【主な回答】

- ゴミ袋は買わない。



**問 49. 食品ロス（食べられる状態であるにも関わらず、捨てられている食品）削減に向けて、現在どのような行動に取り組んでいますか。** 【複数選択可：いくつでも】

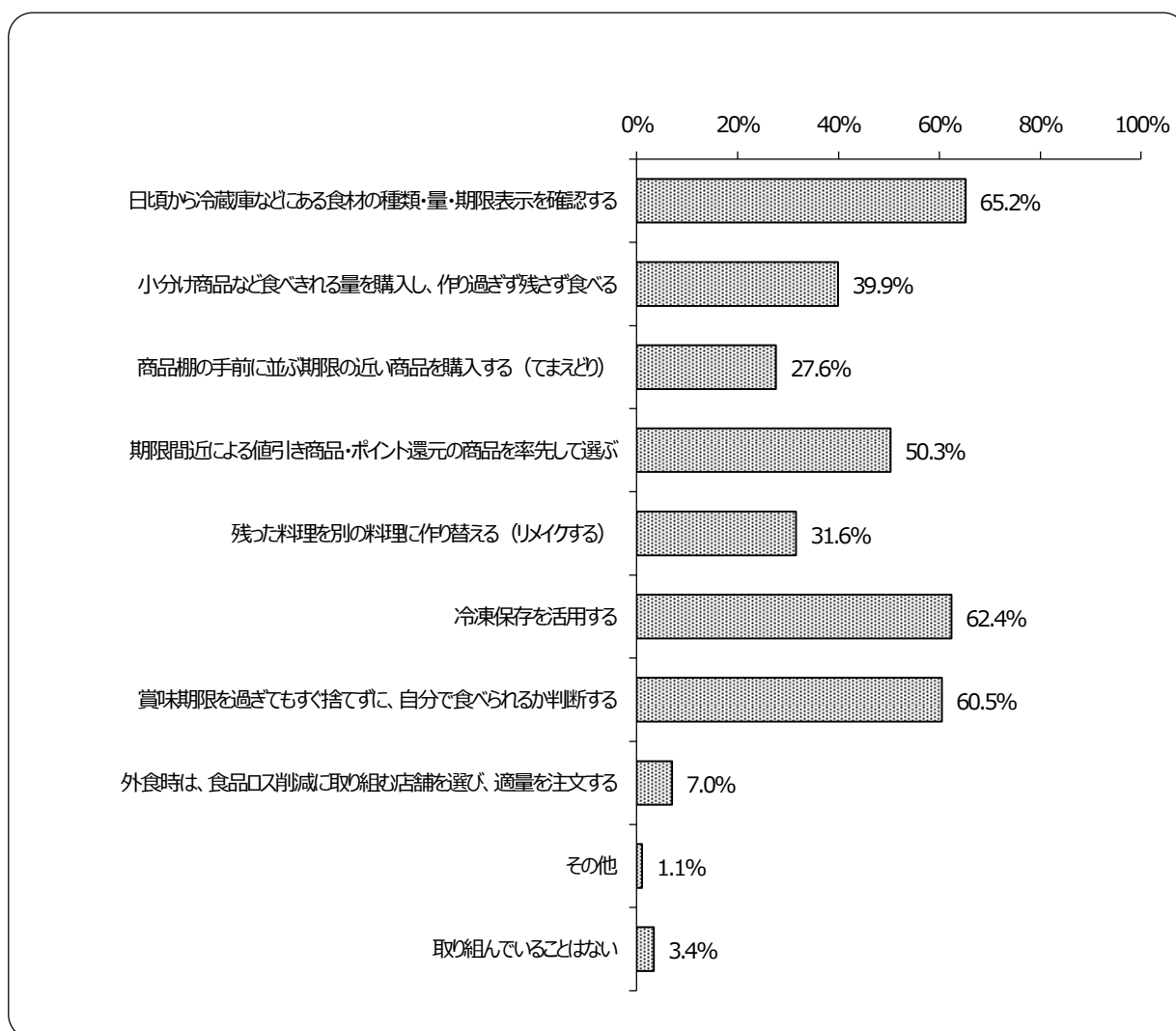
「日頃から冷蔵庫などにある食材の種類・量・期限表示を確認する」と回答した方は 65.2%（令和 4 年度 61.2%）であった。「冷凍保存を活用する」と回答した方は 62.4%で、令和 4 年度の 55.4%から 7.0 ポイント増加した。

	選択項目（N=471）	回答数	回答数/N
1	日頃から冷蔵庫などにある食材の種類・量・期限表示を確認する	307	65.2%
2	小分け商品など食べきれぬ量を購入し、作り過ぎず残さず食べる	188	39.9%
3	商品棚の手前に並ぶ期限の近い商品を購入する（てまどり）	130	27.6%
4	期限間近による値引き商品・ポイント還元の商品を率先して選ぶ	237	50.3%
5	残った料理を別の料理に作り替える（リメイクする）	149	31.6%
6	冷凍保存を活用する	294	62.4%
7	賞味期限を過ぎててもすぐ捨てずに、自分で食べられるか判断する	285	60.5%
8	外食時は、食品ロス削減に取り組む店舗を選び、適量を注文する	33	7.0%
9	その他	5	1.1%
10	取り組んでいることはない	16	3.4%

[9 その他]

**【主な回答】**

- 肥料にする。
- 余計なものは買わない。
- 買ったものは全て食べきる。



問 50. 古紙類の削減に向けて、現在どのような行動に取り組んでいますか。

【複数選択可：いつでも】

「新聞、雑誌、段ボールを地域の集団回収に出してリサイクルする」と回答した方は 56.1%（令和 4 年度 55.8%）であり、「その他の古紙」を地域に集団回収などに出してリサイクルする」と回答した方は 24.0%（令和 4 年度 22.7%）であった。

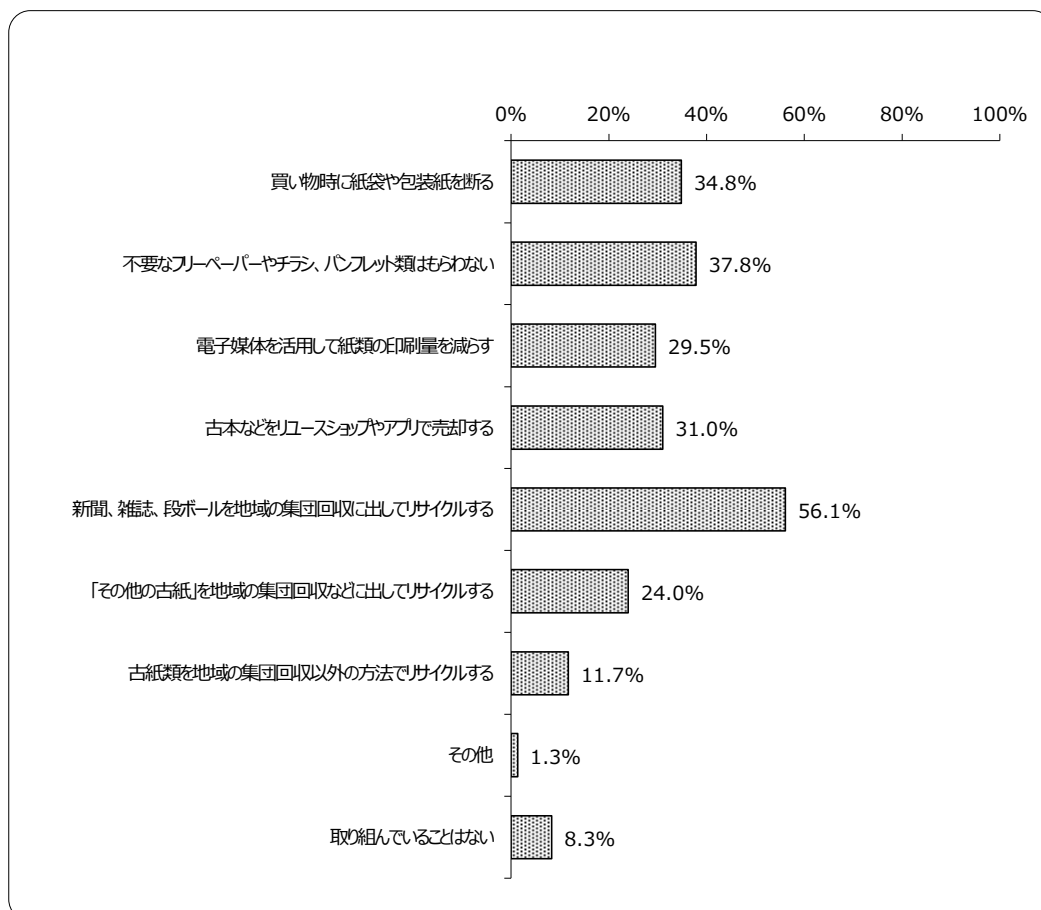
	選択項目 (N=471)	回答数	回答数/N
1	買い物時に紙袋や包装紙を断る	164	34.8%
2	不要なフリーペーパーやチラシ、パンフレット類はもらわない	178	37.8%
3	電子媒体を活用して紙類の印刷量を減らす	139	29.5%
4	古本などをリユースショップやアプリで売却する	146	31.0%
5	新聞、雑誌、段ボールを地域の集団回収に出してリサイクルする	264	56.1%
6	「その他の古紙」を地域の集団回収などに出してリサイクルする	113	24.0%
7	古紙類を地域の集団回収以外の方法でリサイクルする	55	11.7%
8	その他	6	1.3%
9	取り組んでいることはない	39	8.3%

※「その他の古紙」とはお菓子などの紙箱や包装紙、紙袋などのリサイクル可能な紙類のこと。

[8 その他]

【主な回答】

- リサイクル業者に持ち込む。
- 裏紙をメモ紙として使用
- いらぬ油を吸い取って再利用
- 不要になった本や絵本は図書館に寄付している。
- 図書館の利用



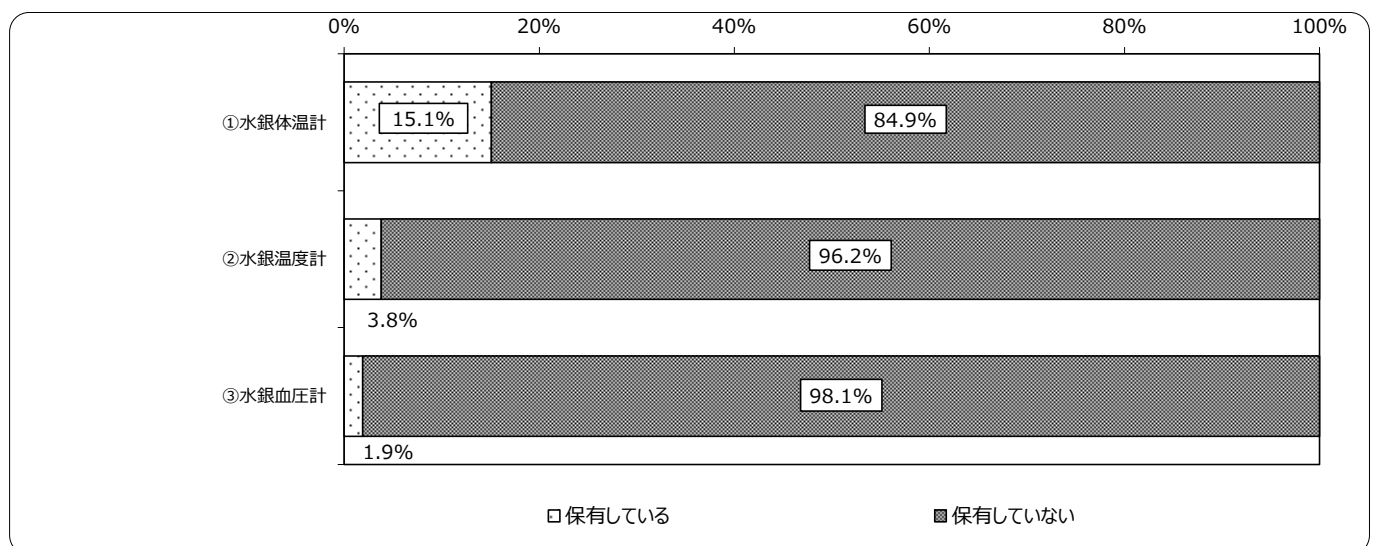
(5) 水銀使用製品の保有・使用状況について

問 51. 水銀が使用された体温計、温度計、血圧計を保有していますか。

【各項目：1つ選択】

水銀使用製品を「保有している」と回答した方の割合は、水銀体温計が 15.1%（令和 4 年度は 18.7%）、水銀温度計が 3.8%（令和 4 年度は 5.6%）、水銀血圧計が 1.9%（令和 4 年度は 1.5%）であり、令和 4 年度とほぼ同様であった。

選択項目(N=471)	保有している	保有していない	計 (回答総数)
①水銀体温計	71	400	471
	15.1%	84.9%	100.0%
②水銀温度計	18	453	471
	3.8%	96.2%	100.0%
③水銀血圧計	9	462	471
	1.9%	98.1%	100.0%



問 52. 問 51 でいずれかの項目について「1 保有している」と回答された方に伺います。

保有している各製品は今後も使用する予定ですか。

【各項目：1 つ選択】

「水銀が使用されていない製品に買換えを検討している」、「処分を検討している」の合計は、水銀体温計が 64.8%、水銀温度計が 44.5%、水銀血圧計が 44.4%であった。

選択項目 (N = 78)	今後も使用する予定	水銀が使用されていない製品に買換えを検討している	処分を検討している	計 (回答総数)
①水銀体温計	25	14	32	71
	35.2%	19.7%	45.1%	100.0%
②水銀温度計	10	3	5	18
	55.6%	16.7%	27.8%	100.0%
③水銀血圧計	5	0	4	9
	55.6%	0.0%	44.4%	100.0%

